

若草小学校区防災福祉コミュニティ 地域おたすけガイド

災害時初動対応マニュアル

地域おたすけガイドの作成にあたって

- ◎地域おたすけガイドは、地域の皆さんが災害時に活動する際に、活用するものです。
- ◎災害時は周囲の状況をよく確認し、自らの安全を確保し、無理をせず、自分たちのできる範囲で活動を行うことが大前提です。
- ◎防コミで訓練を通して繰り返し検証して、若草地域に適したガイドにするために、どんどん見直していきましょう。
- ◎毎年一回は総会等で確認する機会を設けましょう。

令和3年3月作成

若草小学校区防災福祉コミュニティ

目次

若草地域の主要施設・設備等	1
防災資機材庫収納品リスト	2
災害発生時の連絡体制案	4
災害対応活動のイメージ	5
地域で準備しておくべきこと	6
風水害発生時における災害対応	7
地震発生時における災害対応	8
簡易避難者カード・避難者調査票	11
活動の事前指示書	13
* 情報収集・伝達	13
* 安否確認	14
* 自力での避難が困難な人の避難支援	15
* 救出・救護活動	16
* 消火活動	17
* 災害時給水拠点の設置・運営	18

【巻末：各家庭向け資料・若草地域地図】

災害発生時や緊急時の連絡先

須磨区役所	☎731-4341	若草小学校	☎743-7311
須磨消防署	☎735-0119	須磨北中学校	☎741-6465
板宿出張所	☎737-0119	神戸星城高校	☎741-1860
北須磨出張所	☎791-0119	若草地域福祉センター	☎743-6166
須磨警察署	☎731-0110	東白川台自治会館	☎741-5050
西部建設事務所	☎742-2424		
N T T	☎113		
水道（西部センター）	☎733-6601		
下水（水環境センター）	☎641-2711		
大阪ガス	☎0120-7-19424		
関西電力	☎0800-777-3081		

■ 若草地域の主要施設・設備等

防コミ運営本部 設置場所	若草小学校 ☎078-743-7311
東白川台ブロック 本部設置場所	東白川台自治会館（仮） ☎078-741-5050
近隣の 避難所	若草小学校 ☎078-743-7311
	須磨北中学校 ☎078-741-6465
	神戸星城高校 ☎078-741-1860
福祉避難所	若草地域福祉センター ☎078-743-6166
災害時給水拠点	白川高尾公園いつでもじゃぐち 東白川特2配水池
防災資機材庫 設置場所	東白川台自治会館 (若草会館)
	慶雲寺会館裏 (若草町西公園)
	パチンコガイア須磨店奥 (若草町北公園)
	(北須磨ドライビングスクール)
要援護者支援名簿 保管場所	(東白川台) 防災委員会のグループ長以上が保持

若草小学校 鍵保管場所	若草地域福祉センター（総務課が調整中）			
地域福祉センター 鍵保管者				
須磨北中学校 カギ保管場所	東白川台自治会館（総務課が調整中）			
東白川台自治会館 鍵保管者				

若草地域福祉センターは「福祉避難所」に指定されています

神戸市では、避難所での生活において、何らかの特別な配慮を要する高齢者、障害者、妊産婦、乳幼児、病弱者等の要配慮者のうち、介護保健施設や医療機関等に入所・入院するに至らない程度の方を受け入れる施設として、市内の地域福祉センター等を「福祉避難所」に指定しています。

福祉避難所の対象者は、市の保健師が避難所で行う健康調査等をもとに、ご本人やご家族の意向や状況を踏まえ、市が決定します。

※福祉避難所の開設は、対象者の人数や施設の状況、対応可能な人員や物資の確保の状況等を踏まえて、市が判断します。災害時に常に開設される訳ではないため、要援護者の方を含め、まずは一般避難所へ避難することになります。

■防災資機材庫収納品リスト

①東白川台自治会館（点検日：2020年1月21日）

資機材名	個数	備考	資機材名	個数	備考
やかん (5 ㍓)	5		布バケツ	31	
もちいれ箱	10		スコップ	8	
ざる	7		バール	6	
コップ	多数		折りたたみノコギリ	2	
大鍋	1		斧	1	
中鍋	1		ハンマー	2	
ガスカセットコンロ	4		簡易ジャッキ	2	
バケツ	8		ツルハシ	2	
ホース	1		折りたたみ担架	2	
ホースリールセット	2		とび口	4	
メガホン	16		拡声器	1	
はた横棒	5		携帯用電灯	11	
軍手	多数		パトロール用ベスト	多数	
物干し竿	2		タオル	多数	
ガムテープ	2		ごみ袋	多数	
土嚢袋 (50 枚入り)	1		針金ペンチ	1	
ラジオ付ライト	4		設置のぼり	30	
コーンバー長	10		駐車コーン	47	
コーンバー短	10		コーンウエイト	47	
簡易トイレ	2		のぼり	11	
ブルーシート	2		のぼり棒	10	
たわし	2		のぼり軸	9	
業務用ガスコンロ	2		針金	2	
ドライワイパー	2		ロープ (100m)	1	
レインコート	多数		投光器	1	
防犯パトロール腕章	多数	自治会			
駐禁たすき腕章	多数		ジャンパー	27	1階和室
パトロール旗	5		帽子	8	1階和室
トング	8		ヘルメット	12	1階和室
ボール (調理用)	3		救急箱	1	1階和室
モップ	10				
枝切りばさみ	多数				
ホウキ	多数				
のぼり	多数				

②慶雲寺会館裏 (点検日：2020年11月19日)

資機材名	個数	備考	資機材名	個数	備考
トラロープ 100m	1				
ブルーシート (特大)	2				
組み立て式タンカ	1				
スコップ	9				
ツルハシ	2				
斧	2				
バール 大	5				
クリッパー 大	1				
手押し車 大	1				
折りたたみ水槽	1				

③パチンコガイア須磨店奥 (点検日：2020年11月19日)

資機材名	個数	備考	資機材名	個数	備考
発電機 800W	1				
エンジンチェーンソー	1				
投光器	2				
ロープ 12mm×20m	1				
ブルーシート 3.6×5.4m	4				
ブルーシート 1.8×2.7m	2				
メガホン	2				
非常用トイレ	10				
ゴミ袋 大	300				
折りたたみイス	30				
折りたたみ長机	11				
大型テント	1				
ヘルメット	10				
ジャンパー	40				
軍手	24 ダース				

※その他の防災資機材庫の収容品は調査中

■ 災害発生時の連絡体制案（各拠点に集まる人）

若草小学校避難所		
役職	氏名	電話番号

須磨北中学校避難所		
役職	氏名	電話番号

若草町自治会 【拠点：若草小学校】		
役職	氏名	電話番号

東白川台自治会 【拠点：東白川台自治会館】		
役職	氏名	電話番号

車地区自治会 【拠点：慶雲寺会館】		
役職	氏名	電話番号

役職	氏名	電話番号

若草住宅1号棟自治会		
役職	氏名	電話番号

若草住宅2号棟自治会		
役職	氏名	電話番号

■ 災害対応活動のイメージ

東白川台地区【東白川台自治会館】

情報収集

・伝達



安否確認

・避難支援



救出・救護

・初期消火



【須磨北中学校】

避難所開設・運営

- * 避難者名簿の作成・整理
- * 避難者からの被害状況や安否確認情報の収集・整理
- * 支援物資等の配布 (自宅待機者含む)

連絡を取り合い、東白川台地区の情報を集約・整理

東白川台ブロック本部

ある程度落ち着いてきた段階で東白川台地区で集約・整理した情報を本部へ伝達

若草地区【若草小学校】

情報収集・伝達

- * 被害状況や安否確認情報の収集・整理
- * 役員・住民や他地区等への情報伝達

安否確認・避難支援

- * 安否不明者の確認
- * 自力での避難が困難な人の避難支援

救出・救護・初期消火

- * 倒壊家屋等からの被災者の救出
- * 負傷者への応急手当や搬送
- * 消火器や動力ポンプによる初期消火

避難所開設・運営

- * 避難者名簿の作成・整理
- * 支援物資等の配布 (自宅待機者含む)



防コミ運営本部

- * 各自治会や避難所からの情報の集約・整理
- * 区役所・消防署・警察署等への情報伝達
- * 各自治会の課題に対応するための人員の調整・派遣

ある程度落ち着いてきた段階で若草小学校・防コミ運営本部に合流

地域で集約した情報を行政へ伝達・支援要請

車地区【慶雲寺会館】

情報収集

・伝達



安否確認

・避難支援



救出・救護

・初期消火



行政機関

須磨区役所	☎731-4341
須磨消防署	☎735-0119
板宿出張所	☎737-0119
北須磨出張所	☎791-0119
須磨警察署	☎731-0110

■地域で準備しておくべきこと

若草小学校区防災福祉コミュニティ	確認欄
非常時に連絡が取り合えるよう、防災福祉コミュニティや各自治会の名簿・連絡網等を整理する。	
非常時に若草小学校に駆けつけ、防コミ運営本部を立ち上げるためのメンバーを決めておく。	
若草小学校・須磨北中学校の避難所の開設（門や体育館の開放手順等）や運営について、施設関係者や区役所と協議する。	
防災資機材庫の鍵の所有者や収容品を確認し、使用できるか点検する。	
防災訓練等を通じて、防災資機材庫の収容物の補充や追加を行う。	
訓練等を通じて、白川高尾公園いつでもじゃぐちの設置手順を確認しておく。	
各自治会等を通じ、日頃から各家庭としても災害への備えをしておくよう意識啓発を行う。	
民生委員等と協力し、各自治会で避難支援が必要な人の対応について協議しておく。	
倒木のおそれや道路のひび割れ等、災害発生時に気になる場所があれば、情報共有アプリ「K O B Eぽすと」等を活用し、関係部署へ知らせておく。 ※右記QRコードよりダウンロード可能	

■風水害発生時における災害対応

【災害発生前】

防コミ役員間のやりとり及び情報の収集等	確認欄
防コミ役員は気象情報、土砂災害警戒情報等を収集し、地域の状況を整理する。	
大規模な風水害が発生すると予想される場合、防コミ役員同士で連絡を取りあい、災害対応の方針について確認を行う。	
各避難所（若草小学校・須磨北中学校）と連絡を取り、避難所の開設状況や避難した人の情報等を収集・整理し、必要に応じて防コミ運営本部を開設する。	

神戸市が発表する避難情報について

警戒レベル	避難情報	求められる行動
警戒レベル3	<p>高齢者等避難</p> <p>大雨や暴風が続くと見込まれ、土砂災害や洪水が発生する可能性が高まっている状況。</p>	<p>お年寄りの方、体の不自由な方、小さな子供がいらっしゃる方など、避難に時間のかかる方と、その避難を支援する方は避難を開始してください。</p> <p>それ以外の方は、いつでも避難ができるように備えてください。</p>
警戒レベル4	<p>避難指示</p> <p>災害の前兆現象が発生、切迫した状況から命が危険にさらされる可能性が非常に高まっている状況。緊急に避難が必要。</p>	<p>速やかに避難を開始してください。</p> <p>外が危険な場合は、自宅の2階以上の部屋など（土砂災害の場合は山と反対側）に避難してください。</p>
警戒レベル5	<p>緊急安全確保</p> <p>既に災害が発生している状況。</p>	<p>ただちに命を守る最善の行動をとってください。</p>

※警戒レベル1及び2は気象庁が発表

【災害発生後】

※安否確認、自力での避難が困難な人の避難支援、救出活動等具体的な災害対応活動については、次ページ以降の「地震発生時における災害対応」参照

※ただし、特に風水害発生時には二次的被害に巻き込まれる危険も伴うことから、自身の安全を最優先して、できる範囲内での活動に留めること。

■地震発生時における災害対応

【災害発生直後】若草地区

防コミ運営本部及び若草小学校避難所の立ち上げ	確認欄
予め決められた若草町自治会の役員は、災害対応活動の拠点となる若草小学校へ集まり、防コミ運営本部を開設する。	
夜間や休日等、若草小学校の教職員が不在の場合は、若草地域福祉センターに保管してある鍵を持ち出し、校門と体育館を解錠する。	
若草小学校の教職員や区役所職員と協力して避難所を開設する。	
避難者を受け入れ、簡易避難者カード等を活用し、避難者名簿を作成・整理する。	
避難所にたどり着いた人から、避難する過程で得られた近隣の被害状況や安否確認の情報等を聞き出し、被害状況や安否確認の情報を収集・整理する。	
各自治会の役員や須磨北中学校避難所と連絡を取り合い、地域全体の被害状況や避難者の情報を収集・整理する。	

【災害発生直後】車地区

慶雲寺会館における情報収集及び住人の避難誘導	確認欄
予め決められた車地区自治会役員は、災害対応活動の拠点となる慶雲寺会館に集まる。	
慶雲寺会館に一次避難してきた人から、避難する過程で得られた近隣の被害状況や安否確認の情報等を聞き出し、被害状況や安否確認の情報を収集・整理する。	
若草小学校への安全なルートが確認できた場合は、慶雲寺会館に一次避難してきた住人を誘導する。	

【災害発生直後】東白川台地区

東白川台自治会館における情報収集	確認欄
予め決められた東白川台自治会役員及び東白川台防災委員会役員は、災害対応活動の拠点となる東白川台自治会館に集まる。	
東白川台自治会館に一次避難してきた人から、避難する過程で得られた近隣の被害状況や安否確認の情報等を聞き出し、被害状況や安否確認の情報を収集・整理する。	
須磨北中学校避難所の立ち上げ	確認欄
予め決められた東白川台自治会役員及び東白川台防災委員会役員は、須磨北中学校に集合し、教職員や区役所職員と協力して避難所を開設する。	
夜間や休日等、須磨北中学校の教職員が不在の場合は、東白川台自治会館に保管してある鍵を持ち出し、校門と体育館を解錠する。	
避難者を受け入れ、簡易避難者カード等を活用し、避難者名簿を作成・整理する。	
避難所にたどり着いた人から、避難する過程で得られた近隣の被害状況や安否確認の情報等を聞き出し、被害状況や安否確認の情報を収集・整理する。	

【災害発生直後】各自治会共通

安否確認・避難支援	確認欄
民生委員や友愛訪問ボランティア等と協力し、安否不明者の確認を行う。特に安否確認が必要な人の名簿等を事前に用意している場合は、それらを活用する。	
自力での避難が困難な人（災害時要援護者や障がい者、お年寄り、妊婦、負傷者等）の避難支援を行う。	
状況により自宅待機となった場合も、その情報を防コミ運営本部に集約する。	

救出・救護・初期消火	確認欄
二次災害に注意しながら、各自治会で管理している防災資機材庫の資機材等を活用し、被災者を救出する。	
被災者が負傷している場合は、止血等の応急手当を実施し、避難所、医療機関へ搬送する。	
消火器や小型動力ポンプ等、あらゆる消火器具を活用して初期消火を行う。	

【災害発生から数時間～3日（72時間）くらい】

防コミ運営本部の運営		確認欄
ある程度落ち着いた段階で、車地区自治会役員も若草小学校に集まり、防コミ運営本部に合流する。		
各自治会の役員や避難所との連絡を通じ、地域内の被害状況等を収集・整理する。		
収集・整理した情報を区役所、消防署、警察署等に連絡し、支援の要請を行う。		
各自治会で必要な災害対応活動の人員が不足している場合は、防コミ運営本部で調整し、応援を派遣する。		
避難所の運営		確認欄
避難者調査票を活用し、避難者のより詳細な情報を名簿にまとめる。		
避難所に来た人々から、地域の被害状況や安否確認情報を収集・整理し、防コミ運営本部へ伝達する。		
各自治会で必要な災害対応活動に関して、避難所に来た人々から協力者を募る。		
災害時要援護者に配慮する。 ※特に、知的や精神、発達障がい者のうち、集団生活に対応することが困難な人、透析患者やオストメイト（人工肛門など）などの内部障がい者について、特別な配慮が必要であることを他の避難者に理解してもらうことが重要。		
女性や子育て家庭、一緒に連れて避難してきたペットなどにも配慮する。		
福祉避難所を必要とする方について、避難所を巡回する市の保健師へつなぐ。		
支援物資は避難所にいる人だけでなく、自宅で待機している人へも行き渡るよう管理・配布する。		
生活情報の収集・周知		確認欄
生活情報を収集し、地域住民へ周知する。		
防火・防犯パトロール		確認欄
パトロール班を結成し、二次災害に注意しながら、交代で地域内のパトロールを行う。		

簡易避難者カード

<small>ふりがな</small> 世帯代表者氏名	(歳)					
情報の使用 どちらかに○	安否確認があった場合、この情報を使用することに… 同意する ・ 同意しない					
住所						
家族 (ここにいる方)	<small>ふりがな</small> 氏名	性別	続柄	年齢	連絡先	備考

簡易避難者カードの活用例

- ①簡易避難者カードの配布
 - * 自治会役員等が中心となり、地区ごとにカードを配布する。
 - * 同時に避難者の数を数える。
- ②避難者の数の把握
 - * 自治会役員等が数えた避難者数から、避難者の総数を把握する。
- ③簡易避難者カードの収集
 - * 自治会役員等が中心となり、世帯代表者が記入した簡易避難者カードを地区ごとに収集する。
 - * 安否がすぐに分かるよう、掲示板などにカードを貼ってもよい。
- ④より詳細な避難者情報の収集
 - * 避難所の状況が落ち着いてから、避難者調査票（次ページ）を改めて配布・収集する。

避難者調査票

※太枠部分は必ずご記入下さい。

避難所名 ()

①記入時点	年 月 日 時 分	②入所日	年 月 日	
③代表者氏名		⑧親族 などの 連絡先	氏名	
④住所	〒 -		住所	
			連絡先	
⑤電話番号	() -	⑨自宅の被害状況	<input type="checkbox"/> 全壊 <input type="checkbox"/> 大規模半壊 <input type="checkbox"/> 半壊 <input type="checkbox"/> 一部損壊 <input type="checkbox"/> その他 ()	
⑥電話番号 (携帯)	() -	⑩避難場所	<input type="checkbox"/> 建物内 <input type="checkbox"/> 車中泊 (避難場所敷地内) <input type="checkbox"/> 持参テント (避難所敷地内) <input type="checkbox"/> その他 ()	
⑦車種・ナンバー				
⑪避難場所滞在理由	<input type="checkbox"/> ライフライン不通 (電気・ガス・水道・電話) <input type="checkbox"/> 自宅の片づけができない <input type="checkbox"/> その他 ()		<input type="checkbox"/> 余震が不安 <input type="checkbox"/> 必要な物資が手に入らない	
⑫家族構成など		⑬以下に該当するものがあれば 項目を○で囲ってください	⑭備考欄 (病気や食物アレルギーなど)	
フリガナ 氏名	年齢 続柄			
代表者	年 月 日生 歳		ア. 要介護3以上 イ. 障がい (身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱 (37.5度以上) がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
ご家族様等	年 月 日生 歳		ア. 要介護3以上 イ. 障がい (身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱 (37.5度以上) がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
ご家族様等	年 月 日生 歳		ア. 要介護3以上 イ. 障がい (身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱 (37.5度以上) がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)
ご家族様等	年 月 日生 歳	ア. 要介護3以上 イ. 障がい (身体・知的・精神・発達・内部) ウ. 難病 エ. 妊産婦・乳幼児	<input type="checkbox"/> 熱 (37.5度以上) がある、熱っぽい <input type="checkbox"/> 咳、鼻水、咽頭の痛み、倦怠感などがある <input type="checkbox"/> 2週間以内に感染症患者との接触あり (退所日、退所先)	
聞き取りメモ (職員記入欄)		記入者名 ()		

情報収集・伝達

1. ラジオ、テレビ、防災行政無線等で地震情報等の収集を行う。
2. 地域内の災害情報を把握する。

情報収集・伝達手順

1. 情報収集

収集した情報はホワイトボード等に時系列で記載する。

①ラジオ等での情報収集

通信手段が確保されている場合は、ラジオ、テレビ、防災行政無線のほか、電話等も活用する。

②行政からの情報収集

各種機関へ直接連絡を取り、必要な情報を収集する。また、定期的に区役所等に向くなどして、公開されている情報を収集する。

③各自治会からの情報収集

地区内の被害状況や避難状況等の情報を収集する。

2. 情報伝達

情報を伝える手段として、ハンドマイク、広報掲示板、回覧板も効果的に活用する。

安否確認

民生・児童委員等と協力し、安否不明者の確認を行う。

訪問先での確認手段

1. 外観の確認

建物に甚大な被害がないかを確認する。

2. 声かけ・呼びかけ確認

門の外側で大きな声で呼びかけ、安否を確認する。

3. ドアをノックする

応答がないときは、呼びかけと一緒にドアをノックする。

4. 庭、勝手口等の確認

状況が把握できないときは、庭、勝手口などを確認する。

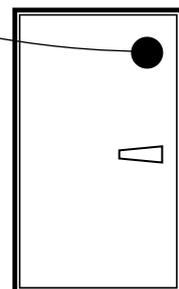
5. 確認シール貼付

確認した状況に応じて、玄関ドアの右上にシールを貼付

① 救助支援の必要あり → 赤色のシール

② 安否確認できず → 黄色のシール

③ 確認済・支援必要なし → 緑色のシール



自力での避難が困難な人の 避難支援

1. 自身の安全を確保した上で、二次災害に気をつけながら可能な限りで、避難する必要がある人の支援を行う。
2. 一時集合場所や避難所に集まった人々から協力者を募り、支援者の割り振りをを行う。

避難支援のポイント

1. 一人暮らし高齢者
迅速な情報伝達と避難誘導、安否確認および状況把握が必要。
2. 寝たきりの要介護高齢者
避難時は車いす、担架、ストレッチャー等の補助器具が必要なことがある。
3. 認知症の人
安否確認、状況把握、避難誘導の援助が必要。
4. 視覚障がい者
音声による情報伝達や状況説明、避難誘導等の援助が必要。
5. 聴覚障がい者
補聴器の使用や、手話、文字、絵図等を活用した情報伝達および状況説明が必要。
6. 言語障がい者
手話、筆談等によって状況を把握することが必要。
7. 在宅人工呼吸器使用者
避難所での電源確保が必要。
8. 負傷者
避難時は車いす、担架、ストレッチャー等の補助器具が必要なことがある。

救出・救護活動

1. 防災資機材（ジャッキ、のこぎり、バール等）を活用し、協力して救出活動を行う。
2. 救護（応急手当）を実施する。
3. 一時集合場所や避難所に集まった人々から協力者を募り、救出・救護活動人員の割り振りを行う。

救出・救護手順

1. 被害の実態把握

- ①倒壊建物に取り残されている人がどのような状態か（けがの程度も含めて）確認する。
- ②建物の倒壊状況および内部に進入するスペースがあるかを確認する。
- ③二次災害が発生する危険要因がないか確認する。

2. 二次災害の防止

- ①木片、トタン、ガラス等の軽量物を除去する。
- ②柱、梁等の大きな物の周辺物を除去するときは、これらの大きな物がずれたり倒壊しないようにロープ等で支持、固定する。
- ③火災の発生に備え、消火器や水バケツを用意する。ガスの元栓や電気のブレーカーは早期に閉止や遮断を行う。

3. 要救助者の救出

- ①要救助者の近くまで掘り進んだ後は資機材を使わずに手作業にする。
- ②要救助者を無理に引き出そうとしない。

4. 応急手当

出血しているときは清潔なガーゼ等で傷口を圧迫止血する。

消火活動

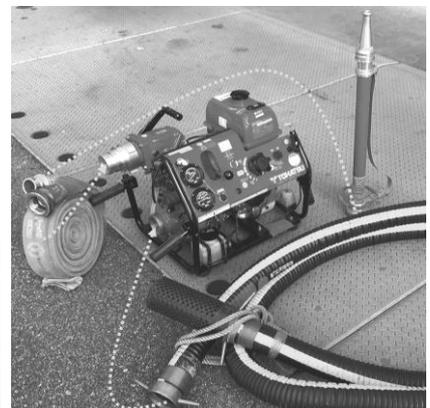
1. 研修を受けた人が中心となり、金平町公園の耐震性防火水槽の小型動力ポンプ等を活用し、初期消火を行う。
2. 出火場所を確認し、消火活動人員を割り振る。

消火活動手順

1. 消火用水の選定
 - ①火元に近い消火用水を選定し、強風時には風上側を使うなど風向きに注意する。
 - ②河川使用時はストレーナーを水の流れに向けて投入し、浮かばないようにする。
 - ③ポンプから水面までの高低差は7m以内を目安とする。
2. ホースの延長要領
 - ①道路、建物の曲がり角では大きく曲げて、折れやねじれ、引きずりを避ける。
 - ②ホースの結合は漏水しないように確実に行う。
3. 送水の時期
 - ①ホースの延長状況や筒先担当の「放水始め」の合図があってから送水する。
 - ②放水口コックを開けるときはノズルの反動力を考え徐々に行う。

小型動力ポンプの使い方

- ①燃料コックを開く。
- ②スロットルダイヤルを「給水・始動」の位置に合わせる。
- ③リコイルスターターハンドルを強く引張り、エンジンを始動させる。
- ④給水レバーを引き上げ、水を吸い上げる。
- ⑤放水口コックをゆっくり開きながら全開にし、放水を行う。



災害時給水拠点の設置・運営

研修を受けた人が中心となり、災害時給水拠点である白川高尾公園いつでもじゃぐちの仮設給水栓を設置する。

災害時給水拠点仮設給水栓設置手順（※参考）

①災害時給水拠点の鍵を開ける。



④仮設給水栓（4セット）を現地の組立手順書及び説明書を参照して組み立てる。



②応急給水資材保管庫から手動ポンプ、サクシオンホース、分岐栓、消防用接続ホース、仮設給水栓収納袋を取り出す。



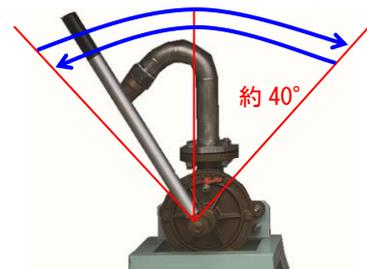
⑤手動ポンプに分岐栓を取り付け、各栓に消防用接続ホースで仮設給水栓を2セットずつ連結する。



③緊急用取水口にサクシオンホースで手動ポンプを接続する。



⑥手動ポンプのハンドルを垂直に対して約40度の角度で左右に揺動する。空気を吸い込んでいる間はできるだけ早く操作してポンプ内部に水を吸い上げる。



若草小学校防災福祉コミュニティ 地域おたすけガイド（各家庭向け資料）

各家庭でも日頃から災害への備えをしておきましょう	確認欄
各家庭で食料や物資を備える。最低3日分、できれば7日分準備しておく。	
家具の転倒による怪我や閉じ込めを防ぐため、金具や突っ張り棒、ベルト等を使って固定しておく。	
土砂災害警戒区域やまちの危険箇所、避難所までの経路など、普段から住んでいる地域の状況を把握しておく。	
家族との連絡方法や避難場所等を普段から話し合っておく。	

台風や大雨が接近した場合の災害対応のポイント

<p>① 正確な情報を収集する</p>  <p>防災行政無線やテレビ、ラジオ、スマートフォンなどを使って、正しい情報を得る。</p>	<p>② 早期の自主避難を心がける</p> <p>土砂災害警戒区域内の住民は、避難準備・高齢者等避難が発表された段階で避難を開始する。ただし、風雨の状況によっては安全に避難することが困難になる場合も考えられるため、行政による避難の呼びかけを待たずに自主的に判断して早めに避難することを心がける。</p> 	<p>③ 強風への対策</p> <p>強風による落下物や飛散物を出さないよう、庭やベランダの不要なものを撤去したり、物干竿を固定しておく。窓ガラス等の破損やそれによる怪我をしないよう雨戸やカーテンの閉鎖を徹底する。</p>
---	---	--

地震が発生した場合の災害対応のポイント

<p>① まず自分の身の安全を守る</p>  <p>地震の揺れを感じたら、まず姿勢を低くし、丈夫なテーブルの下に隠れたり、座布団等を使って頭を守り、ある程度揺れが治まるまでは、じっと動かないこと。</p>	<p>② 家族の安全を確認・確保する</p>  <p>家族の安否を確認し、家具が倒れてこないような、家の中の安全な場所に避難する。</p>	<p>③ 避難経路を確保する</p>  <p>建物がゆがんでドアが開かなくなれば危険。ドアや窓を開けておく。</p>	
<p>④ 身支度を整える</p>  <p>靴を履き、あらかじめ用意しておいた非常持ち出し袋等を確保する。</p>	<p>⑤ 正確な情報を収集する</p>  <p>テレビやラジオ、防災行政無線、スマートフォンなどを使って、正しい情報を得る。</p>	<p>⑥ 火気や電気を始末する</p>  <p>調理器具や暖房器具の火を消し、ガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす。</p>	<p>⑦ 安否確認や避難の呼び掛け</p>  <p>可能な範囲で近所の人の安否確認や、避難の呼び掛けを行う。</p>

■非常時を見越した食料や物資の準備

安心ストック

ライフラインが途絶えても、何日間かは自給自足してしのぐための物品を備蓄しておきましょう。



- 水 調理のことも考えて 1人1日3リットルを目安
- 主食 ご飯の場合は、レトルト、多めに炊いたご飯を冷凍しておくなど
- 缶詰 長期保存に適しています 缶切りが必要なタイプもあるので注意
- インスタント食品
- フリーズドライ食品
- 漬物 梅干しなど
- 乾物 不足しがちなビタミン、食物繊維の摂取に役立ちます
- 菓子類 チョコレート、キャンデーなど
- 調味料



- キッチンペーパー
- ポリ袋 (大、小)
- ティッシュペーパー
- トイレットペーパー 南海トラフ地震では不足すると言われています
- 簡易トイレなど 災害用トイレなど 断水状態でも使用できるように
- 家庭用救急セット 毛抜き、ガーゼ、包帯など
- 持病薬 無くなる前に診察を受け、数日分をストック 合わせて処方箋のコピーも
- 生理用品
- 充電器、予備の乾電池



いつもケータイ

災害はいつ起きるかわかりません。いつも使うバッグやポケットに入れて身に着ける、あるいは枕元に置いておきましょう。

- 家、車の鍵
- 財布 小銭も入れておく
- 身分証明書
- 健康保険証
- 携帯電話 できれば充電器も
- 筆記用具 できれば油性ペンも



- ハンカチ、手ぬぐい
- マスク ふんじんを防ぎましょう
- 懐中電灯 ペンライト、携帯電話でも代用可能
- 携帯ラジオ 手回し・ソーラー式なども便利
- スリッパ 食器棚等が倒れ、ガラスが散乱した場合、足を守ることができます
- 緊急ホイッスル 居場所を知らせる用です



非常持ち出し品

家の倒壊や火災等によって避難が必要となった場合、さっと持ち出して逃げられるようリュックサックに入れておきます。

- 飲料水 1人最低 500 ミリリットル
- 加熱がいない食料
- ラップ 清潔なものであれば、止血、食器覆い用
- サバイバルシート 保温性の高いアルミシート
- 着替え 肌着など
- タオル 洗って乾かしたもの



- 軍手・ゴム手袋
- 雨具
- マッチ、ライター、ろうそく
- 生理用品 清潔なものであれば緊急時の止血用としても
- 歯ブラシ 誤嚥性肺炎を防ぎます
- 預貯金通帳・印鑑



※さらに詳しいチェックリストについては、人と防災未来センター発行の小冊子を参照「減災グッズを備えよう！」→http://www.dri.ne.jp/wordpress/wp-content/uploads/bousai_goods.pdf



■防災情報等入手するために、事前に調べる・登録する

KOBE防災ポータルサイト SONAE to U? (そなえとう)

WEB サイトでは、日頃からの「備え」に役立つ情報や子ども向けの防災クイズ等を配信。アプリでは緊急情報やハザードマップなどの確認ができます。



iOS アプリ



Android アプリ

ひょうご防災ネット

神戸市や兵庫県からの避難情報や緊急気象情報（地震、津波、気象警報、特別警報、土砂災害警戒情報、河川洪水予報、竜巻注意報など）を受信できます。



メール版



iOS アプリ



Android アプリ

災害用伝言ダイヤル「171」

家族の安否確認等のために録音した伝言は、全国から再生することができます。

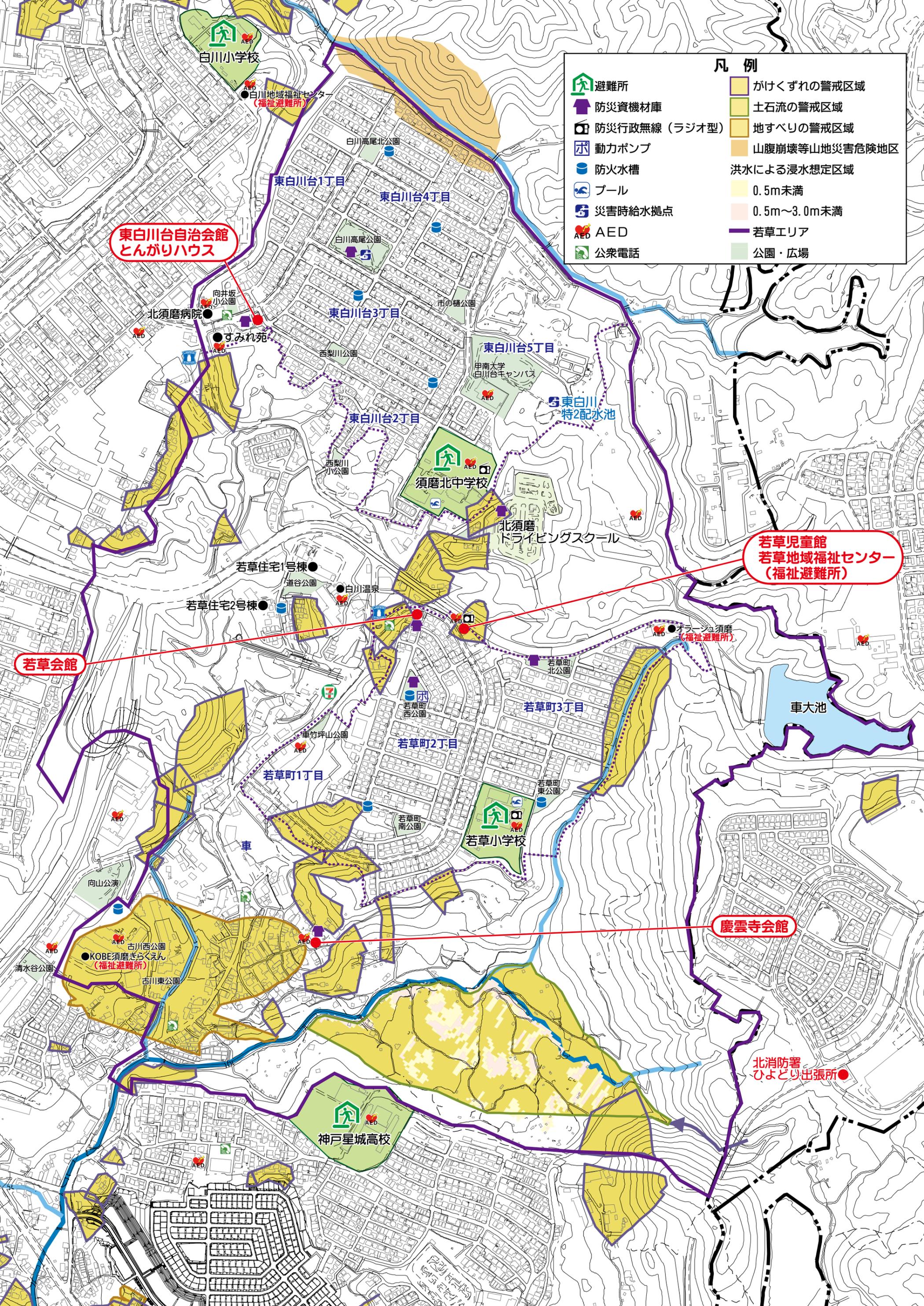
1 7 1

録音 再生

1

2

市外局番から電話番号を入れる
078-xxxx-xxxx



凡例

- 避難所
- 防災資機材庫
- 防災行政無線（ラジオ型）
- 動力ポンプ
- 防火水槽
- プール
- 災害時給水拠点
- AED
- 公衆電話
- がけくずれの警戒区域
- 土石流の警戒区域
- 地すべりの警戒区域
- 山腹崩壊等山地災害危険地区
- 洪水による浸水想定区域
0.5m未満
- 0.5m～3.0m未満
- 若草エリア
- 公園・広場

東白川台自治会館
とんがりハウス

若草児童館
若草地域福祉センター
(福祉避難所)

若草会館

慶雲寺会館

北消防署
ひよどり出張所

白川小学校

白川地域福祉センター
(福祉避難所)

東白川台1丁目

東白川台4丁目

白川高尾北公園

白川高尾公園

東白川台3丁目

西梨川公園

東白川台5丁目

甲南大学
白川台キャンパス

東白川
特2配水池

東白川台2丁目

西梨川
小公園

須磨北中学校

北須磨
ドライビングスクール

若草住宅1号棟

道谷公園

若草住宅2号棟

白川温泉

オアシス須磨
(福祉避難所)

若草町北公園

若草町3丁目

車大池

若草町1丁目

若草町2丁目

若草小学校

向山公演

古川西公園

●KOBE須磨きらくえん
(福祉避難所)

古川東公園

神戸星城高校